

二宮報徳連合 9月の特別シンポジウム

国家の興廃と資源エネルギー

昭和天皇は、日本が戦端を開くことを余儀なくされた理由として、人種差別と禁輸を挙げられた。エネルギー資源が断たれば、国が危機に直面する状況は、戦前も今も本質的に変わらない。国民の生命と財産、国家の存亡をも左右する資源エネルギー確保の問題に、鋭く斬り込んで頂く！

令和元年9月20日(金) 憲政記念館講堂

17:00 開場 前編：17:15～17:45 二宮報徳連合 代表講話



シンポジウム 開演 18:00 ～

「国家の興亡と石油資源の確保」

◆一般社団法人 空の神兵慰霊顕彰碑護持会 代表理事

元出光興産株式会社 **奥本康大 先生**

昭和25年大阪市生まれ。大東亜戦争の緒戦でインドネシア・パレンバンで油田を確保したことで有名な「空の神兵」奥本實中尉の長男。昭和50年出光興産に入社。事業会社の社長を経て勇退。現在は家庭裁判所調停員、保護司を務める。著書に『大東亜戦争失われた真実』『空の神兵と呼ばれた男たち』（いずれもハート出版）等。

「日本の安全に欠かせない原発」

◆株式会社 世界出版 代表取締役社長

一般社団法人 放射線の正しい知識を普及する会 理事

茂木弘道 先生

昭和16年東京生まれ。東京大学経済学部卒業後、富士電機を経て平成2年に世界出版を設立。史実を世界に発信する会会長代行、一般社団法人放射線の正しい知識を普及する会理事などを務める。著書は最新刊の『大東亜戦争 日本は「勝利の方程式」を持っていた！』（ハート出版）『放射能を怖がるな！ラッキー博士の日本への贈り物』など多数。

◆いもこじ討論会 司会

評論家

三浦小太郎 先生

1960年東京生まれ。獨協学園高校卒。『諸君！』『月刊日本』『正論』『別冊宝島』等に執筆。著書に『渡辺京二』（言視舎）『なぜ秀吉はパレンバンを追放したのか』（ハート出版）など。

シンポジウム 参加費 1,000円、どなたでも参加可能です。

懇親会は、全国町村会館の地下「ペルラン」にて20時より。会費 4,000円

お問い合わせ herofujita7@yahoo.co.jp / 080-5543-0111 藤田

★会費は、シンポジウムも懇親会も、現地の会場にてお支払い下さい。

主催 二宮報徳連合 代表 藤田裕行

二宮報徳会 会長 工藤昭彦 二宮尊徳を伝える大和の和の会 会長 飯本和美

手本は二宮金次郎の会 会長 原口美穂 一般社団法人 空の神兵慰霊顕彰碑護持会 代表理事 奥本康大

後援 一般社団法人 放射線の正しい知識を普及する会 会長 加瀬英明

英霊の名誉を守り顕彰する会 会長 佐藤 和夫